TOTO

洗面化粧台・フロア・サイド・ウォールキャビネット

LDP601S/SU・601JS/JSU・751S/SU・751JS/JSU・751SC/SCU・751JSC/JSCU,
LBP151・301, LYP150・301, LWP151・301・601・751, LFP151・301・601・751

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　味
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

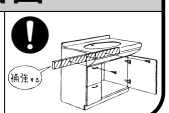
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🚫	🚫 は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 本体に付属されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。

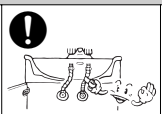


⚠ 注意

工事完了後、給排水管から水漏れがないことを必ず確認する
水漏れを起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。

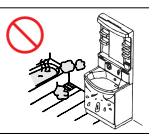
給排水工事は、関連する法令にしたがって、必ず「業者」が行う
水漏れの原因となります。

凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与えるおそれがあります。

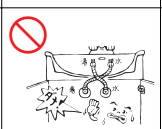


カウンター・洗面ボウルの上に乗らない
故障および転落・転倒してケガをする原因となります。

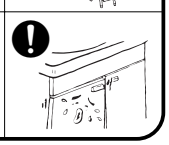
浴室など湿気の多い場所へ設置しない
木部の膨潤、変形によりキャビネットが外れてケガをするおそれがあります。



湯・水を逆に配管しない
水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。



工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してケガをするおそれがあります。



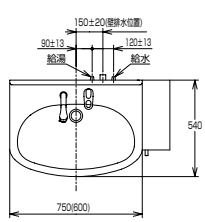
☆工事寸法

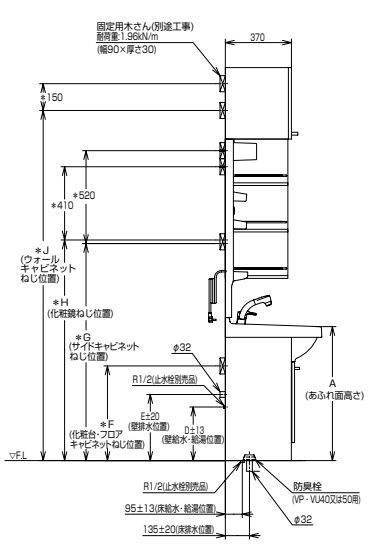
〈化粧鏡が一面鏡の場合〉

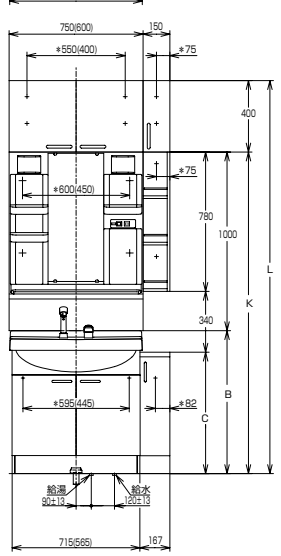
- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 図はLDP751S＋LMP7KBH＋LBP151R＋LYP150R＋LWP151R＋LWP751タイプです。
その他の機種は、外観形状が若干異なります。
- ＊印の寸法は、木ねじ固定位置を示します。
- (　) 寸法は600サイズです。
- あふれ面高さが800mmの場合は、別途台輪を手配ください。

寸法表

あふれ面高さ A	750	800
B	800	850
C	680	730
D	300	350
E	370	420
＊F	530	580
＊G	1215	1265
＊H	1235	1285
＊J	1960	2010
K	1800	1850
L	2200	2250





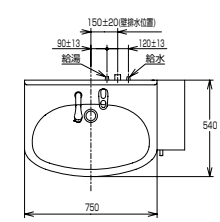


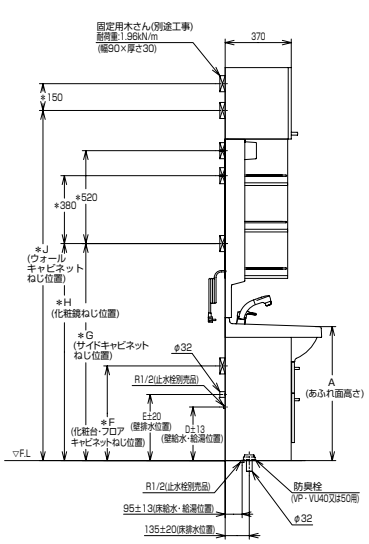
〈化粧鏡が三面鏡の場合〉

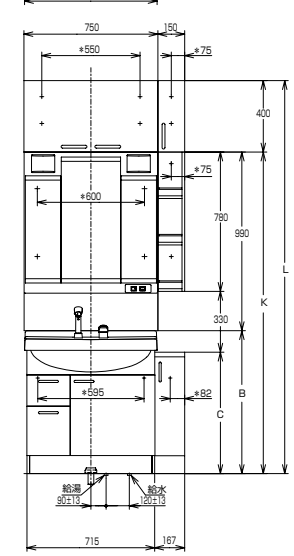
- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 図は LDP751SC＋LMP7KCH＋LBP301R＋LYP301R＋LWP301R＋LWP751タイプです。
- ＊印の寸法は、木ねじ固定位置を示します。
- あふれ面高さが800mmの場合は、別途台輪を手配ください。

寸法表

あふれ面高さ A	750	800
B	800	850
C	680	730
D	300	350
E	370	420
＊F	530	580
＊G	1205	1255
＊H	1215	1265
＊J	1950	2000
K	1790	1840
L	2190	2240







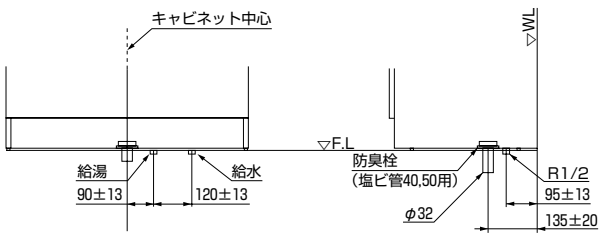
※止水栓および壁排水ユニットは付属していませんので、必要な場合は、右記品番の別売品をご購入ください。

止水栓	壁給水	LTL316C1RU （2個）
	床給水	(あふれ面750) LT4BD17U (2個)
		(あふれ面800) LT4BD25U (2個)
壁排水ユニット		LO123

〈床給水・配管王の場合〉

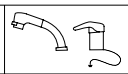
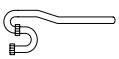
●配管王をご使用の場合は、別売品TSAS4BJKXA（2個）を、ご購入ください。
※配管王とは、TOTO樹脂配管システムです。

床給水の場合



☆付属部品明細

化粧台　LDP

	名称		数量
1	水栓一式		1セット
2	排水トラップ		1セット
3	給水ふた		2個
4	排水ふた		1個
5	防臭栓		1個
6	水受けトレイ		1セット
7	ふた用木ねじ（φ3×12）		7本
8	壁固定用木ねじ（φ5.2×55）		2本
9	ヘアキャッチャー		1個
10	取扱説明書（保証書付）		1冊

台輪　LFP

	名称		数量
1	横さん		1本
2	右側板		1枚
3	左側板		1枚
4	けこみ板		1枚
5	アングル用木ねじ（φ4.5×10）		8本
6	アングル		4個
7	連結用木ねじ（φ4.5×35）		2本
8	化粧キャップ		2個

フロアキャビネット　LBP

	名称		数量 150サイズ	数量 300サイズ
1	壁固定用木ねじ（φ5.2×55）		1本	2本
2	連結用木ねじ（φ3.1×25）		2本	2本
3	棚受ダボ		4個	4個

ウォールキャビネット　LWP

	名称		数量 150サイズ	数量 300サイズ	数量 600･750サイズ
1	壁固定用木ねじ（φ5.2×55）		2本	4本	
2	連結用木ねじ（φ3.1×25）		2本		

サイドキャビネット　LYP

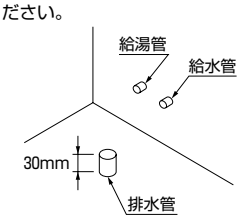
	名称		数量 150サイズ	数量 300サイズ
1	壁固定用木ねじ（φ5.2×55）		2本	4本
2	化粧キャップ		2個	4個
3	棚受ダボ		−	8個

☆施工上の注意

●取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

☆取付前の準備

●キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。（固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。）
●給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
●器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
●化粧台に給水・給湯穴（φ52×2）、排水穴（φ90）を穴あけしてください。
●排水管を所定の位置に取り出してください。
仕上げ面より約30mm立上げてください。
（排水管はVU40･VU50または、VP40･VP50をご使用ください。）
※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすきまがある場合は、メジシールでシールしてください。



☆使用条件

●水栓金具の使用条件は、水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

裏面に続く

タイル、コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけて木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。（プラグの下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

☆洗面化粧台取付手順　（番号順に取付けてください。）

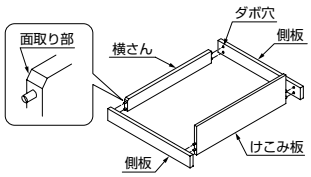
①水栓の取り付け

●取り付けについては、水栓金具に付属されている施工説明書を参照ください。

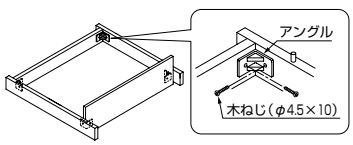
②化粧台の取り付け

［台輪をセットする場合］

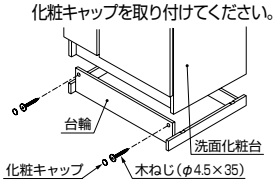
（1）ダボとダボ穴を合わせて、仮り組みしてください。（当て木をしてハンマーでたたいて連結してください。）



（2）4箇所にアングルを木ねじ（2本）で固定してください。



（3）台輪の上に洗面化粧台を乗せて、木ねじ（2本・台輪に付属）で固定し化粧キャップを取り付けてください。

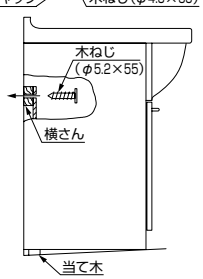


壁固定

※付属の木ねじ（2本）で、確実に壁固定してください。

●床が水平でない場合には、扉に段付きができるおそれがありますので丁番を調整して段付きをなくしてください。（調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。）

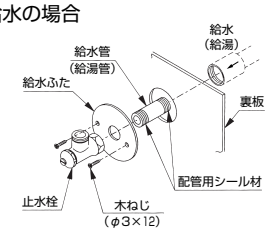
※それでもよくならない場合には、当て木をして水平になるように調整してください。



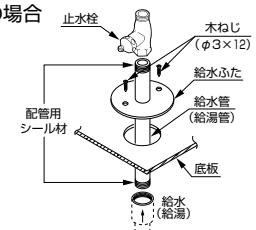
③止水栓の取り付け

●止水栓は工具で確実に締め付けてください。

●壁給水の場合



●床給水の場合

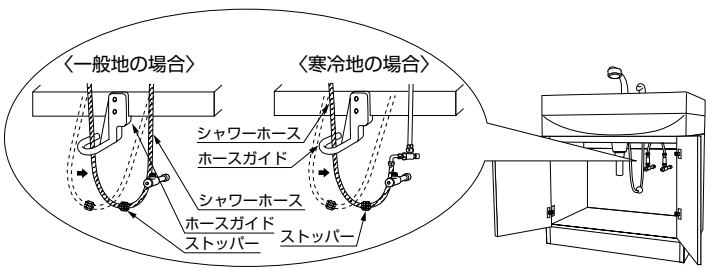


④水栓金具の給水・給湯接続

●給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。

⑤シャワーホースの取り付け

●シャワーホースを図のようにホースガイドに通してください。



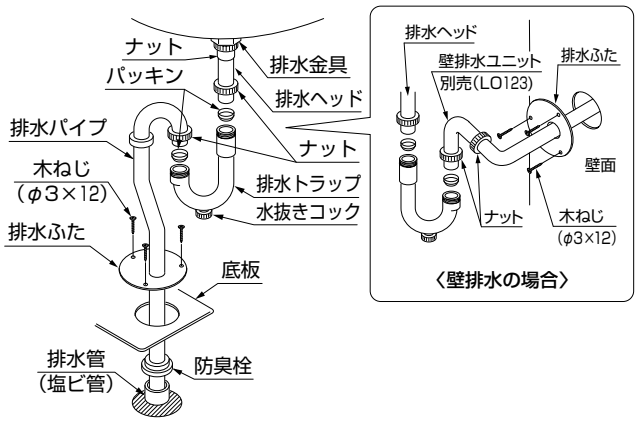
※シャワーホースが納まりにくいときはストッパーの位置を動かし、シャワーホースの出代を短かくしてください。

⑥排水トラップの取り付け

※ナット・水抜きコックは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。

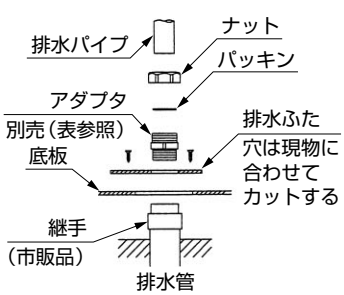
●床排水の場合は、排水管に防臭栓をはめて排水パイプを差し込んでください。

●集合住宅、高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプタ（下表）で確実に接合してください。



集合住宅、高層住宅の場合

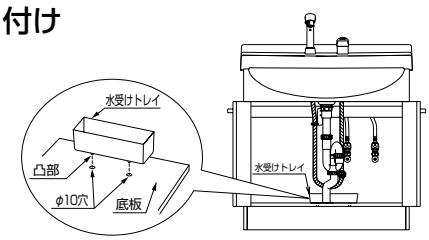
アダプタの種類		サイズ
T1122	（鋼管用）	R1¼
T1122J	（塩ビ管用）	30用
LO48	（塩ビ管用）	40用
LO49	（塩ビ管用）	50用



⑦水受けトレイの取り付け

●図のように底板の、φ10穴（2ヶ所）に水受けトレイの凸部を差し込み固定してください。

※シャワーホースを伝わる水が受けられるように必ず水受けトレイを設置してください。



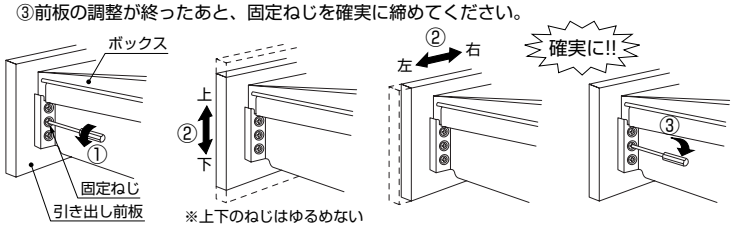
⑧引き出しの前板調整

■引き出しの上下左右調整

①引き出し側面にある固定ねじを、前板が動く程度にゆるめてください。（左右1ヶ所）

②引き出し前板を、上下左右に調整してください。

③前板の調整が終ったあと、固定ねじを確実に締めてください。



☆寒冷地タイプの水抜方法

●寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

（水栓の水抜き）

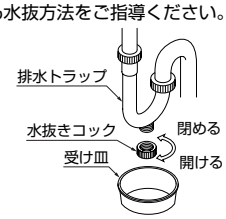
水栓の水抜きについては、水栓金具の施工説明書を参照してください。

（排水トラップの水抜き）

①水受けの容器を置き排水トラップの水抜きコックを開けてください。

②水抜き後は、必ず水抜きコックを確実に閉じてください。

（注）水抜きコックは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。

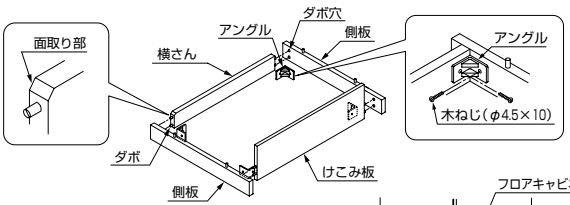


☆フロアキャビネットの取り付け

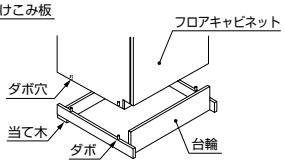
（この施工説明書はRタイプの場合を示します。Lタイプの場合は、
これと対称になります。）

[台輪をセットする場合]

（1）ダボとダボ穴を合わせて、仮り組みしてください。
（当て木をしてハンマーでたたいて連結してください。）



（2）4箇所にアングルを木ねじ（2本）で固定してください。
（3）台輪のダボにフロアキャビネットのダボ穴を合わせてセットしてください。

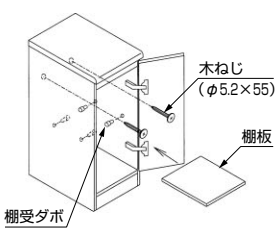


壁固定・棚板の取り付け

- 付属の木ねじ（150サイズ1本、300サイズ2本）で、確実に壁固定してください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。
※床が水平でない場合には、扉が傾くおそれがあります。
※傾いている場合は丁番で調整してください。
（調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。）

- 棚受ダボを棚受ダボ用穴に差し込み棚板をのせてください。



（図は300サイズを示す）

キャビネットの連結

※☆ウォールキャビネットの取り付けの［キャビネットの連結］を参照ください。

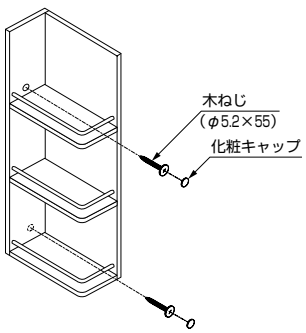
☆サイドキャビネットの取り付け

壁固定・棚板の取り付け

（150サイズの場合）

- 付属の木ねじ（2本）で、確実に壁固定した後、化粧キャップを取り付けてください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。

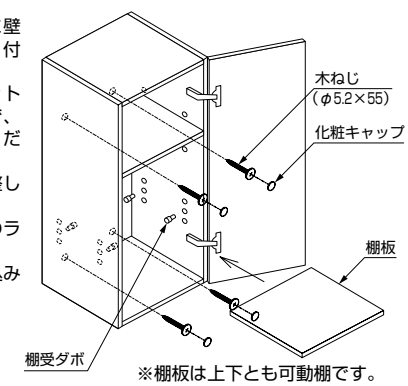


（300サイズの場合）

- 付属の木ねじ（4本）で、確実に壁固定した後、化粧キャップを取り付けてください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。
※扉が傾いている場合は丁番で調整してください。
（調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。）

- 棚受ダボを棚受ダボ用穴に差し込み上下の棚板をのせてください。



※棚板は上下とも可動棚です。

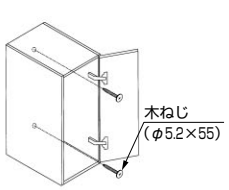
☆ウォールキャビネットの取り付け

壁固定

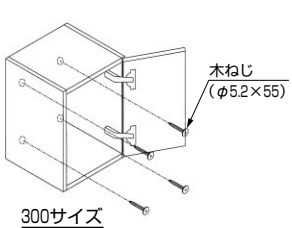
（150・300サイズの場合）

- ウォールキャビネットはサイドキャビネットの上に乗せて水平方向・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の木ねじ（150サイズ2本、300サイズ4本）で、確実に壁固定してください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。
※扉が傾いている場合は丁番で調整してください。
（調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。）



150サイズ

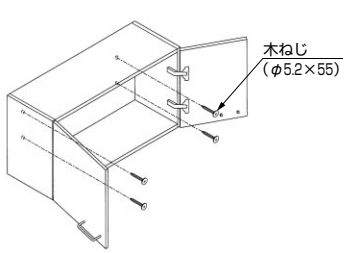


300サイズ

（600・750サイズの場合）

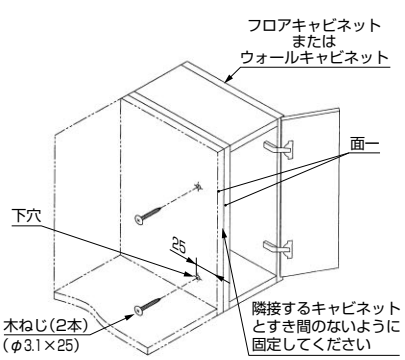
- ウォールキャビネットは化粧鏡の上に乗せて水平方向・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の木ねじ（4本）で、確実に壁固定してください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。
※扉が傾いている場合は丁番で調整してください。
（調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。）



キャビネットの連結

- 木ねじで固定する時は、下穴を設けてください。
- キャビネット内側より木ねじで隣接するキャビネットと2カ所固定してください。



☆取付完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 扉が傾いていないか確認してください。
（調整要領は化粧台右側板内側の丁番調整方法を参照ください。）
- 扉の傾き・ガタツキなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。